



岩手県立盛岡峰南高等支援学校

～生きがいある豊かな生活の実現～

1 学年 復興防災学習

7月2日（火）と9日（火）に、矢巾町にある岩手県立総合防災センターで復興防災学習を2クラスずつ行いました。

最初に DVD を視聴し、自分でできる備えの「自助」と、普段の近所付き合いが重要になる「共助」について知り、様々な気象災害に対応するための備えについて学習しました。

その後、火事の現場を想定した煙・暗闇体験を行い、煙が充満し、先が見えない状況での避難を体験したり、関東大震災の揺れ方をシミュレーションした地震を体験したりしました。火事的时候は、煙が空間の上の方に先にいくことから、しゃがむ姿勢で落ち着いて避難すること、地震的时候はテーブルなどの下に隠れてテーブルの脚を押さえ、頭を守ることの大切さなどを学びました。

最後に、1階の展示スペースで防災グッズ、非常食、岩手の災害の歴史、東日本大震災など様々な展示を見学しメモをとったり写真を撮ったりするなど、自分のテーマに沿って学習を深めました。



DVD 視聴



煙・暗闇体験



関東大震災の“震度7”を体験



展示見学